

STOP ! ATMでの携帯電話

～特殊詐欺被害防止活動～

一般社団法人 大分県銀行協会

大分県銀行協会とは（概要）

大分県内で活動している 14銀行 の団体組織

大分銀行 豊和銀行 伊予銀行 福岡銀行
宮崎銀行 肥後銀行 筑邦銀行 愛媛銀行
西日本シティ銀行 北九州銀行 宮崎太陽銀行
みずほ銀行 三井住友銀行 三井住友信託銀行

地方銀行11行
都市銀行2行
信託銀行1行

1.銀行とりひき相談所事業

2.手形交換事業

3.協会事業

金融犯罪防止の対応と活動内容

防犯活動

- ① カラーボール配布
- ② 防犯街頭活動
- ③ 年末および年金振込日の防犯体制強化
- ④ 関係機関先との連携、各種会合・打合せ



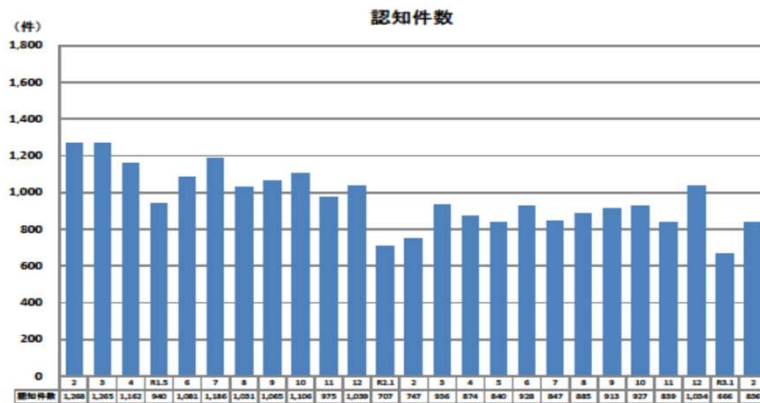
特殊詐欺被害防止活動

- ① ポスター・チラシの作成と配布、ならびに街頭活動
- ② 県警・金融機関からの情報収集と情報の共有化
- ③ 預手プランの実施
- ④ 「STOP! ATMでの携帯電話」運動 ※令和3年7月から開始



特殊詐欺の状況について

月別・特殊詐欺(オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、融資保証詐欺)認知推移(平成31年2月～令和3年2月)



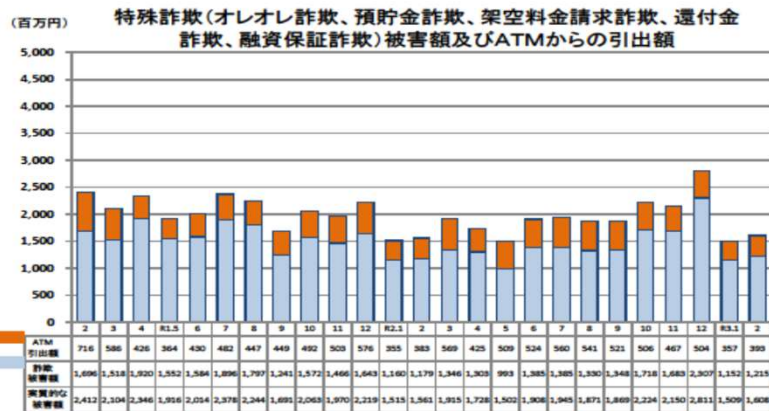
特殊詐欺の認知件数高止まり

同様に、被害額も高止まり

手口は年々巧妙化・多様化

自分は大丈夫！は、アブナイ

被害防止に向けた何か対策を



※ 実質的な被害額は、詐欺被害額にキャッシュカード手交型におけるATMからの引出(窃取)額を加えたもの。

STOP！ATM通話運動取組のきっかけ

よく見られる犯罪の手口

犯人は、ATMで携帯電話を使わせ操作方法を指示しながら、現金の出金を繰り返させる、または、犯人の口座へ振り込む手続きをさせる。

どうしたら防げるか？

何か対策方法はないか？ 県警生活安全部と協議する中で情報キャッチ。東京の信用金庫が、警察と連携し、ATMで通話STOP運動を始めた、と！

大分でも、この運動は出来ないか？ しかも県内一斉に！！

考えて、行動した結果

協会が県内の各金融機関に声をかけ、理解と協力を得て、
全ての金融機関の同意を得ることが出来た。

大分県金融機関防犯協会の下、令和3年7月共同宣言を行い「STOP！ATMでの携帯電話」の運動開始。

全国初！
県内一斉の取組



「STOP！ATMでの携帯電話」とは

運動目的

大分県警察本部と連携し、ATMでの携帯電話の通話は、「しない」「させない」を、社会のルール・マナーとして醸成し、県内全域に広め認識してもらい、特殊詐欺被害を防止する。

運動内容

ポスターを作成し、ATMコーナ等に掲示し、周知徹底を行う。
携帯電話で通話しながらATM操作をしている方へ、声かけや取引の確認を行う。

運動期間

社会のルールとして**機運が醸成されるまでの間**

詐欺被害を防ごう!

STOP!

ATM^で
携帯電話



～通話をご遠慮ください～

大分県警察本部・大分県金融機関防犯協会



活動の課題と今後の取組について

成果と課題

この1年間の活動成果として、少しは進歩を感じている。しかし、ルール・マナーの醸成までの間に、他業種や他団体を巻き込んだ、**大分県民は ONE TEAM！ 特殊詐欺撲滅**が必要。

今後の取組

「ポスターの掲示」や「お客様へのお声掛け」を通じて、ルール・マナーの醸成を、各所に、かつ地道に周知していく。引続き関係各所と連携し、動向を注視しながら水際対策を強化する。

**ATMコーナーで携帯電話の通話は
「しない！」「させない!!」**